

すてきな大分を見つけ、伝えよう！

2024.8.10



7月講話会 報告

猛暑が続きます。いかがお過ごしでしょうか？先月の講話会は、NPO 法人日韓芸術文化交流会理事長の印成銀（イン・ソンウン）様をお迎えいたしました。去る 2 月の講話会で、一般社団法人大分子学研究会榎本代表理事が「大分は、大陸から韓半島を経て日本の中心、畿内への結節点の役割をもってきた」とのお話がありましたが、今回、大分で日韓の友好親善に努められる印理事長をお招きし、大分をどのように感じて来られたのか、その率直なお話をうかがいました。

印成銀理事長のお話（メモ）

1. 来日のきっかけ

来日前は、正直日本には興味はなく、オーストラリアに关心がありました。しかし、研修旅行で、初めて日本に来た時、熊本、大分、福岡にいったのですが、街にゴミが落ちてないこと、クリーンな街の姿に非常に大きなショックを受けたのです。信じられないことでした。これがきっかけで日本に关心を持ち、大学の進学先として除隊後でしたが、1995年に、日本文理大工学部建築学科に入学しました。ところが、大学4年間は、8歳も年上であったこともあり、周りが幼く見えて、あまり意味のある期間とはなりませんでした。卒業後、Jリーグ大分トリニータ専属通訳や2軍マネージャーをしたこともあります。



2. 日本の印象

何となく窮屈に感じるところがあり、韓国人と日本人の違いを感じました。日本では、自分が言いたいことを言ったらダメですね。韓国は、物をはっきり言います。ここの違いを感じ、日本の生活は私にとって、「何か違うな」というところがありました。30歳になる前の頃は、違う国に行ってみたいと思うことも正直あったのです。

3. 心が通じるものを感じ

しかし、この気持ちも今から10年前になるのですが、やっと日本人の中に『心(마음)が通じる』ものを感じるようになりました。その時、（大分で今までやってきたことに対して）「やっていてよかった」と感じたのです。心が通じるものがあると人間誰でも同じだなと思い、嬉しいものです。

4. エピソード

未だ若かった時ですが、差別用語を語られ、私も憤り「マスター、私今日はこれで帰ります！」と言って席を立ったこともあります。マスターは慌てて「印さん、どうしたん？」と語られ、私は事情を話すと状況がよく分かってくれたのか、私の話し相手だった人に「このような言葉をつかったらだめだよ。もう時代が変わったのだから」といって諭してくれました。またマスターは、私にお詫びまでしてくれたのでした。私の苦い思い出とともに嬉しかった出来事でもありました。

5. 韓国の伝統、文化

韓国の親元を離れ生活してきたのですが、親子の情といいますか、この年になると一段と深く感じるものがあります。コロナの関係もあり、5, 6 年会わないままだった父に最近あったのです。父の襟元の白髪を見て「ああ年を取ったなあ」とつくづく感じたことがありました。胸が詰まりググっと来るものがあり



ました。親に対する情は、私だけでなく、韓国では一様に非常に深いものがあります。お正月には子は親に敬拝して新年の挨拶をするのが伝統です。

6. 日韓関係は大事です

互いに隣国同士です。日韓関係は非常に大事と考えます。私たちは、相互理解と友好親善を目的に丁度10年前になりますが、NPO 法人日韓芸術文化交流会を設立し、イベント等を企画開催してきました。『日韓友好の集い』や映画祭を開催しています。このような集いは人脈がないとできません。人脈を広げ、このような行事がもっと盛んになることを強く願っています。

来年の2月1日～2日に、佐伯市で『第6回日韓友好のつどい in 佐伯』を開催予定です。是非ご来場ください。(メモ：青井勝久)



◇ ◇ ◇ ◇ 8月・9月 講話会お知らせ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

①8月31日（土）10時より開会 - じいちゃんの好奇心は孫に負けんぞ-

演題『名門大友氏と大友宗麟を探る』

講師：NPO 法人大友氏顕彰会

理事長 若杉 孝宏 氏

於：ホルトホール大分 303会議室 参加費 500円/人

②9月29日（日）14時より開会 『創業者上田保の魅力とマリーンパレスの歩み』

「上田保の人となりと交友関係」（橋本世紀子夫人）

「上田が作ったマリーンパレスからうみたまごへ」

講師：株式会社マリーンパレス 社長 橋本 均 氏

於：ホルトホール大分 409会議室 参加費 500円/人

《お問い合わせ先》一般社団法人すてきな大分を伝える会 青井勝久 TEL 080-3865-7104

HP（ホームページ）<https://nice-oita.webnode.jp/> E-mail k-aoi1005@outlook.jp